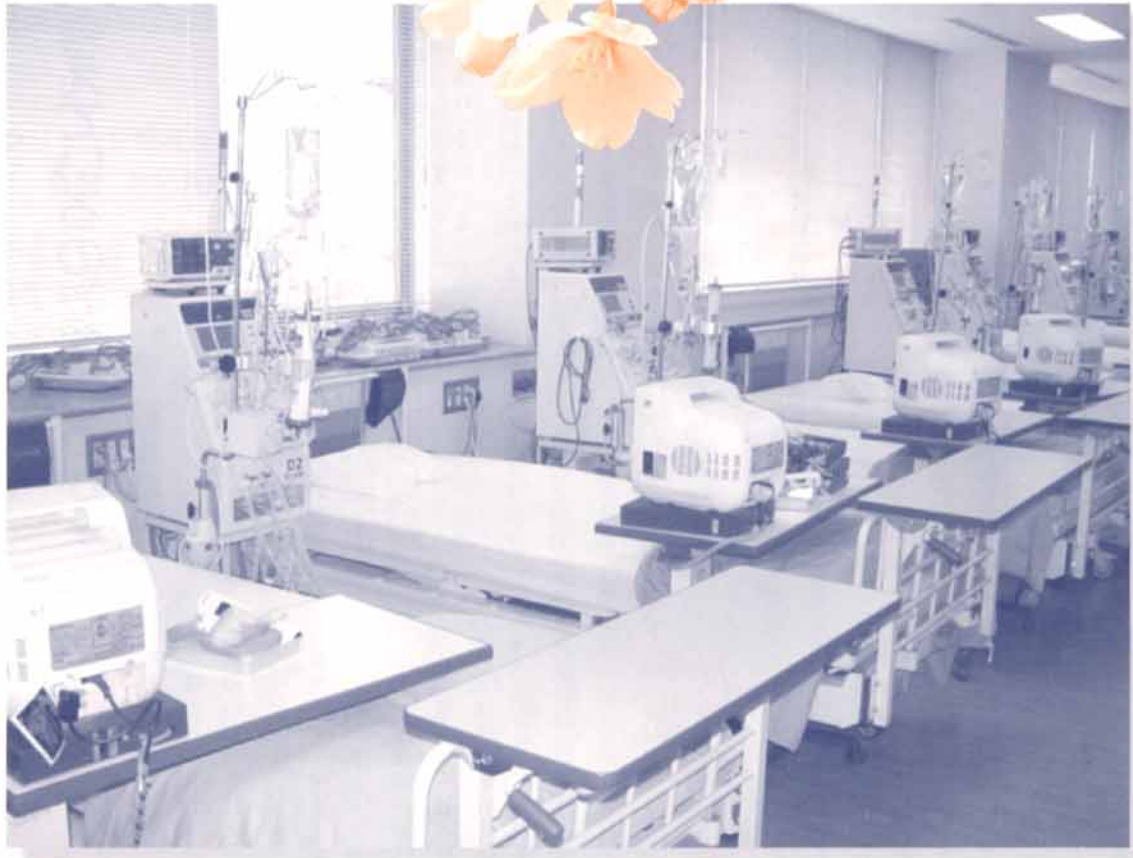


Well Well

第2号



診療報酬改正

これからの医療に不安が

第13回
日本サイコ・ネフロジー研究会
2002.6.30(日)

午前9時30分～午後4時00分

メインテーマ

『長期透析者の ころろ・からだ・人生』

大会会長 : 坂井瑠実 (坂井瑠実クリニック)
代表世話人 : 太田和夫 (太田医学研究所)
会場 : 神戸新聞松方ホール (神戸市中央区東川崎町1-5-7)
参加費 : 会員 5,000円 非会員 8,000円
事務局 : 坂井瑠実クリニック 神戸市東灘区御影本町2-11-10
TEL 078-822-8182 FAX078-822-8112
E-mail : sakairumclinic@muc.biglobe.ne.jp

瑠実ちゃんのぼやぎ！



いつたいつの国は何をきくと？

医療費改定に思う

坂井瑠実

ご存知のようにこの4月から医療費が改定される。まず食事加算の63点が削除され、食事が自己負担になり、患者さんにとっては実質8000円強の負担増でも厳しい改定である。今でも赤字、かつ栄養士や調理師の苦勞の割には評価されないのが現状の透析食なので患者さんには申し訳ないがこの際思いきって外部委託を考慮中である。時には持ってこられたお弁当の自身で栄養指導をさせていただき、治療効果をあげたいと思っている。それでも透析機器の進歩により、治療食としての位置付けが薄れてきているのも事実で、100歩譲って食事の件はよしとしよう。信じられないのは、透析の時間枠がとれたということ、ダイアライザーの値段が下がりI型、II型が変わらなくなったこと即ち透析アミロイド症の原因と言われているβ2マイクログロブリンの全くぬけないダイアライザーも、今ほとんどこのクリニックで使っている、合併症予防のためのポリスルホンのダイアライザーもほぼいっしょの値段になってしまった事である。この事がいかにとんでもない事、どれぐらい恐ろしい事か皆様はお分かりであろうか？β2マイクログロブリンのぬけの悪い膜で、時間短く透析をしなれば、経営がやっつけいけない、良い透析、透析の質に拘ってはいは経営的に成り立たなくなるというのが今回の医療費改定なのである。日本国が貧乏になったからといって、政治の責任を医療にしわ寄せをしてほしくないと思立たしきでいっばいである。かつてイギリスでサッチャー首相が、透析の保険適応を65才までと決めた時代があった。私が医者になった頃わが国でも、お金の切れ目が命の切れ目と言われ、透析中止など悲惨な事例が多く存在した。患者さん方の命がけての運動で透析医療の公費負担が実現したが、この度の改正を見ると、揺るぎないと信じていた透析医療の質も、国の方針であつたという間に逆戻りするのだと、怖さを実感している。どのような時代が来ようとも、質を落とさないで、いやもつともつと良いものを目指して、透析医療を続けたいと切に思っているが、何処まで頑張れるか？？？坂井瑠実クリニックが消滅してしまわないよう唯祈るばかりである。

訪問介護支援事業所「みのり」からのお知らせ

創刊号の院長挨拶にありました。医療法人最初の事業として、訪問看護ステーションと居宅介護支援事業所を立ち上げるべく努力してまいりましたが、この2月1日付で居宅介護支援事業所を、県の認可をうけて開設いたしました。しかし、残念ながら訪問看護ステーションについては、今回は見合わせるようになりました。

居宅介護支援事業所「えがおの窓口」は介護保険の趣旨にしたがい、利用者本人および家族の依頼をうけて、適切な保健・医療・福祉のサービスを多様な事業所の中から総合的・効率的に利用できるよう、計画書を作成するお手伝いをいたします。また、その計画書に基づいたサービスが確保できるように、サービス事業者との連絡や調整等のお手伝いをし、サービスを受けた方が、自宅において、必要に応じた日常生活を営むことができるように、専門のケアマネージャーが支援します。

たとえば

①介護保険申請代行

②居宅サービス計画作成

③介護福祉用具レンタル などなどです。

一階受付前に居宅介護支援事業所「みのり」の部屋があります。ぜひ、お気軽にご相談ください。

坂井瑠実クリニック患者会 友愛会入会のご案内（会員、賛助会員）

もう入られていますか患者会？？？

今現在、みなさんが自己負担なく安心して透析治療を受けられているのも、昔、金の切れ目が命の切れ目と言われた時代に透析していた、我々患者会の上層組織の先輩方が命をかけて得た制度があるからです。

この制度もいつまでもあると安心していらなくなってきています。今回の医療改定では透析医療の質までが脅かされる状態にあり、当然患者自身の生活の質にも影響がでます。そこで、今一度みなさん一人ひとりが危機感を持って、自分達で出来ることは何なのか？、また、今しなければならぬ事は何か？を考へ行動をしなければなりません。すこしでも多くの同じ、痛み、思いを持ったものどうし、ひとつになつて自分自身のため、みんなのために、病院（スタッフ）、患者（家族）双方、力を合わせ手を取り合いより良い透析医療と生活の質を守って行きましょう！！！！

ひとりでも多くのご理解とご協力を・・・入会のお問い合わせは、友愛会幹事まで